

確認 1. 今年度の役員校の選出方法について

昨年度の役員会では、「現行の制度をこれ以上続ける事は不可能になった。」との結論に達した。本来は、規約改正も併せて提案すべきだと考えたが、大きな変更を伴うため、顧問の先生方とじっくり時間をかけて、新しい制度を作っていきたいと考え、昨年度提案し実施した。

暫定的に、現役員会のメンバーで大会運営及び校内放送委員会の体制についての検討を行う。（実質的な改選は行わない）

確認 2. 委員校選出の一時中断について

特定の委員校が全ての補助業務を行うという従来の方法では、大会を運営する事が難しくなっている。また、委員校のもう一つの役割である時期役員校の候補になるのも難しくなっている。

今年度は、委員校を新規に選出しない。

（既に委員校になっている学校には、協力をお願いする。）

大会運営の補助は、部員の多い学校に直接お願いをする。

確認 3. 総文祭関東大会に向けて、一時金を積み立てる

2010年(平成22年)に、総文祭関東大会が神奈川県で開催されます。全国大会の際は、全国大会実行委員会から必要経費が計上され（1000万円近くの予算を使いました）、専門部として大きな金額を用意する必要がありませんでした。しかし、今回の大会の予算的裏づけは、県高文連からの補助金20万円しかなく、残りは、広告と前年度からの繰越金を使用することになるが、それではとても足りない事が予想される。

今年度も、一括して30万円を準備金を計上する。

少しずつ積み立てる方法も考えられるが、近年の校内放送委員会の決算は赤字基調なので、繰越金があるうちに積み立てて置いた方が、後で困らないと判断した。

提案1. 関東大会準備大会開催について

2008(平成20)年1月13日に第5回関東大会が東京都で行われた。神奈川県からは昨年度の決定に基づいて、先の総文祭大会で推薦を受けた生徒が30名ほど参加した。

当日開かれた関東地区代表者会議には、準備委員が出席した。その会議では、(1) 関東地区高等学校文化連盟放送部会規約 (2) 今後の大会開催県 (3) 関東地区代表者会議日程が話し合われた。

(2) の今後の大会開催県は

2009(平成21)年1月 千葉県

2010(平成22)年1月 神奈川県

2011(平成23)年1月 山梨県

これを受けて、昨年度提案したが、本年度「県高等学校総合文化祭(兼、全高総文祭放送部門大会・県予選)」を、予選大会1日(アンデパンダン大会当日)と、本選大会1日(アンデパンダン大会1週間後)の2日間実施することを提案する。

理由としては、本年度より「関東大会の参加人数・時程」に合わせて県大会での本選大会を実施し、21年度準備大会とし、生徒・教員が運営・進行を体験する。

提案2. 関東大会準備委員の選出について

別紙「関東大会に向けて」にあるように、今年度より「関東大会準備委員会」を立ち上げ、準備を進めたい、案として以下の4名の先生を「校内放送委員会内の別動組織」として提案する。(敬称略)

小沢 元 (県立保土ヶ谷)
三宅 義人 (私立捜真女学校)

川又 弘明 (県立元石川)
中津川 雅則 (県立大船)

活動予定内容等は「関東大会に向けて」を参照のこと。